

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	下水道事業会計支出事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	06 雨水・汚水の適切な処理
事業実施期間	昭和38年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	地方公営企業繰出基準（地方公営企業繰出金について（総務省自治財政局長通知））

【事業概要】

現状と課題	繰出基準に基づき、雨水処理費等公費で負担すべきものを一般会計から下水道事業会計に繰出している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	下水道事業のうち、公共的、政策的にその経費を一般会計が負担すべきものについて、下水道事業会計負担金及び補助金を支出し、地方公営企業の経営の健全化及び経営基盤の強化を図る。
対象 ※誰、何に対して	下水道事業会計
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	一般会計から下水道事業会計へ負担金及び補助金を支出する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	2,684,153 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,684,153 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	06 下水道費
細目	005 下水道事業会計支出事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	3,028,488 千円	2,662,766 千円	2,684,153 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>公費で負担すべき雨水処理及び汚水処理費について、公営企業への繰出し基準に基づき支出を行うと共に、政策的に一般会計が負担すべき経費については補助金を交付することにより、一般会計からの適正な支出のもと、下水道事業会計の安定的な経営に寄与した。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	下水道事業会計支出事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道事業会計	会計	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道事業会計負担金	千円	2,994,520	2,640,218	2,663,345
活動指標分析結果	下水道事業会計の安定的な経営に寄与している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
経常収支比率	%	113.3	108.5	108.7	令和8年度	108.3
成果指標分析結果	経常収支比率が100%を上回っており、安定的な経営に寄与している。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	市街化区域整備事業	部局名	上下水道局
		課名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	快適な生活環境の創出
目標	1 下水道普及率の向上
施策	1 未整備地域の早期解消
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例

【事業概要】

現状と課題	市街化区域は、本来整備が完了していなければならないが、交通量が多い路線、地下埋設物及び構造等により、施工難易度が高い路線など未整備となっている区域がある。現在、地元要望により接続の意思を確認してから工事に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	取付管設置後に、受益者による宅内排水設備の新設(改造)工事を行ってもらい、公共下水道を使用できる状態にする。
対象 ※誰、何に対して	【受益者】市街化区域内で公共下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	対象路線に下水道管渠(本線)を埋設し、併せて対象地に対して取付管を設置する。

【コスト】

		令和3年度(決算)
事業費合計		79,016 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	73,600 千円
	その他	5,416 千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	建設改良費
目	汚水管渠築造費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	54,134 千円	144,467 千円	79,016 千円

【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	令和3年度に予定していた箇所の整備が完了した。未整備箇所は物理的又は土地権利面の支障があり整備できずに残っているので、今後も支障となる事案が解消された箇所については整備を進めていく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
整備予定人口(当該年度施行決定工事)	人	43	65	28

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事発注件数	件	7	4	4
整備人口	人	4	80	7
活動指標分析結果	令和3年度の工事発注件数は4件あり、整備人口は73人減少した。 ※令和3年度の整備人口については、令和4年度への繰越工事分は含まれていない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
普及率	%	99.8	99.8	99.8	令和7年度	100.0
成果指標分析結果	未整備区域の解消は着実に進んでいるものの、普及率は横這い状態であり、引き続き目標値に向けて整備を進める必要がある。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	市街化調整区域整備事業	部 局 名	上下水道局
		課 名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	快適な生活環境の創出
目標	1 下水道普及率の向上
施策	1 未整備地域の早期解消
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例

【事業概要】

現状と課題	平成27年度末の事業認可の変更により、公共下水道整備区域を見直し、主に市街化調整区域の未整備区域を整備している。今後10年間で公共下水道整備を概成させるためには、財源確保はもちろん必須ではあるが、新たな整備手法の導入がなければ、国からの方針である10年概成へ向けての工事発注も困難な状況にある。令和元年度からは従来の整備方法に加え、新たな手法である官民連携手法の詳細設計に着手した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	取付管設置後に、受益者に宅内排水設備の新設(改造)工事を行ってもらい、公共下水道を使用できる状態にする。
対象 ※誰、何に対して	【受益者】市街化調整区域内で公共下水道が整備されていない路線に面する土地に居住(又は営業)する市民(又は事業者)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	対象路線に下水道管渠(本線)を埋設し、併せて対象地に対して取付管を設置する。

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		1,247,961	千円
財源内訳	国庫支出金	150,900	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	1,029,700	千円
	その他	67,361	千円

【会計】

会 計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	建設改良費
目	汚水管渠築造費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	745,989 千円	631,059 千円	1,247,961 千円

【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	令和3年度はPPP(第1工区)による工事及び従来型分割発注による工事の進捗により、普及率が上昇している。PPP(第2工区)は入札不調となったことから、当該予定区域は従来型分割発注により事業推進していくこととなるが、目標年度までに概成するためには人員体制の強化を図っていく必要がある。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
整備予定人口(当該年度施行決定工事)	人	593	255	215

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事発注件数	件	16	10	10
整備人口	人	550	71	292
活動指標分析結果	<p>工事の発注件数は10件であり、過年度と比較し整備人口は221人増加した。令和2年度繰越工事分の完了に伴い、整備人口が増加した。 ※令和3年度の整備人口については、令和4年度への繰越工事分は含まれていない。</p>			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
普及率	%	76.5	78.3	79.7	令和7年度	100.0
成果指標分析結果	<p>令和3年度末における普及率は、前年度と比較し1.4ポイント上昇しており、目標に向けて着実に進捗している。</p>					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	水洗便所普及奨励事業	部局名	上下水道局
		課名	お客さまサービス課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	快適な生活環境の創出
目標	2 良質な水環境の確保
施策	1 水洗化の促進
関連根拠法令等	下水道法、加古川市水洗化等促進条例

【事業概要】

現状と課題	下水道が整備された区域内の建築物の所有者は、下水道法の規定により接続義務があるが、市街化調整区域内には、高齢者のみの世帯や合併処理浄化槽を設置している世帯の割合が比較的高く、接続するには経済的な負担を伴うことから、下水道への接続を躊躇する世帯も多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯等が下水道へ接続する状態にする。
対象 ※誰、何に対して	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯及び事業所
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・未水洗世帯等に対し戸別訪問を実施し、水洗化を促す。 ・早期(供用開始から3年以内)の接続世帯に対し、水洗化助成金を交付する。

【コスト】

		令和3年度(決算)
事業費合計		6,907 千円
財源内訳	国庫支出金	1,000 千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他	5,907 千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	事業費用
項	営業費用
目	水洗便所普及促進費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	7,914 千円	6,999 千円	6,907 千円

【総合結果】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	助成金及び補助金の交付や個別訪問の実施により水洗化の促進を図ることができた。今後も、助成金及び補助金の交付により経済的負担を緩和するとともに、未接続世帯に対しては下水道に関するPRなどを継続的に行う。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
未水洗化人口	人	10,121	9,273	8,537

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水洗便所設備助成金交付件数	件	155	133	126
未水洗家屋戸別訪問件数	件	1,070	1,194	1,240
活動指標分析結果	市街化調整区域の整備が本格化し、市街化区域と比較して整備対象となる戸数が少ない。また、助成金交付対象件数の増減は下水道管渠の整備戸数にも大きく依存している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
水洗化率	%	95.8	96.2	96.4	令和10年度	100
成果指標分析結果	水洗化率は毎年着実に伸びており、助成金の交付及び未水洗家屋への戸別訪問が水洗化を促す一助となっている。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	水洗便所改造資金貸付融資事業	部局名	上下水道局
		課名	お客さまサービス課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	快適な生活環境の創出
目標	2 良質な水環境の確保
施策	1 水洗化の促進
関連根拠法令等	下水道法

【事業概要】

現状と課題	下水道が整備された区域内の建築物の所有者は、下水道法の規定により接続義務があるが、接続するには経済的な負担を伴うことから、下水道への接続を躊躇する世帯も多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	下水道整備区域及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯が下水道へ接続する状態にする。
対象 ※誰、何に対して	下水道整備区域内及び農業集落排水区域内の未水洗化世帯
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	金融機関に資金を預託し、下水道接続工事に係る費用の融資を希望する方をあつせんする。

【コスト】

		令和3年度(決算)
事業費合計		5,900 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他	5,900 千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	その他資本的支出
目	預託金

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	5,800 千円	6,200 千円	5,900 千円

【総合結果】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	融資実行件数は少ないが、制度を維持することで水洗化の促進を図ることができたと考える。今後も、助成金及び補助金の交付や下水道に関するPRなどと合わせて実施することで水洗化の促進に努めていく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
未水洗化人口	人	10,121	9,273	8,537

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
預託金額	千円	5,800	6,200	5,900
活動指標 分析結果	申込み件数や金融機関での融資残高を勘案し、預託金額の見直しを検討していく。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
融資あっせん申込数	件	1	0	2	-	-
水洗化率	%	95.8	96.2	96.4	令和10年度	100
成果指標 分析結果	融資あっせん申込数は景気の動向や市中金利などにより影響を受けるため、年度により増減が生じる。利用件数は非常に少数ではあるが、水洗化を希望する市民に対する経済的支援の一助として、制度自体は継続する必要があると考える。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	管渠改築事業	部局名	上下水道局
		課名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	危機に強い安全・安心な下水道の実現
目標	1 災害への備え 2 管渠・施設の機能維持
施策	1 管渠・施設の耐震化 2 ストックマネジメントの実践
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法

【事業概要】

現状と課題	平成28年4月に下水道ストックマネジメント支援制度が創設されたことに伴い、平成30年度において下水道ストックマネジメント計画の策定を行った。今後はこの計画に基づき、長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進行状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを行ったうえで、施設の点検・調査、修繕・改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理を進めることが求められる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健全な下水道施設の持続を図り、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内の下水道施設全体および下水道を利用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成28年4月に下水道ストックマネジメント支援制度が創設されたことに伴い、平成30年度において下水道ストックマネジメント計画の策定を行った。今後はこの計画に基づき、管渠の劣化状況と財政面とのバランスを考慮した上で、計画的かつ効率的に改築・更新を実施する。

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		25,600	千円
財源内訳	国庫支出金	12,000	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	13,600	千円
	その他	0	千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	建設改良費
目	汚水管渠築造費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	27,793 千円	6,380 千円	25,600 千円

【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	令和3年度は改築工事に着手したが、繰越事業となったため、事業実績として挙がっていないが、継続的に改築事業を実施している。今後も下水道ストックマネジメント計画に基づき、幹線・支線いずれにおいても改築更新事業を計画的に実施していく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ストックマネジメント計画に基づく管路改築更新の総延長(①)	m	178	178	178
改築更新を要する管路の残延長	m	178	153	153

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
改築延長(累計)(②)	m	0	25	25
改築延長(各年度)	m	0	25	0
工事・委託発注件数	件	1	1	1

活動指標分析結果	下水道ストックマネジメント計画に基づく管渠改築工事を1件発注し、令和4年度に完成予定。 (平成30年度に加古川市下水道ストックマネジメント計画策定業務委託を1件、令和元年度に下水道ストックマネジメント計画に基づく実施設計業務委託を1件完成済み。)
----------	--

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
事業進捗率(②/①)	%	0.0	14.0	14.0	令和5年度	100.0

成果指標分析結果	令和3年度は改築工事に着手したが、繰越事業となったため、事業実績として挙がらず、進捗率も横ばいとなっている。
----------	--

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	雨水管渠整備事業	部局名	上下水道局
		課名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	危機に強い安全・安心な下水道の実現
目標	1 災害への備え
施策	2 浸水対策
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法

【事業概要】

現状と課題	宅地化が進み農地面積が減少する中、都市部の保水機能が年々低下してきている。また、近年の集中豪雨により大量の雨水が排水路へ流れ込むため、新たな浸水区域を発生させている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	44mm/hの降雨に対応した雨水管渠を整備することにより、雨水を適切に処理できる状態にする。
対象 ※誰、何に対して	市民(整備計画区域内住民)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公共下水道事業計画に基づき雨水管渠の整備をする。

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		397,231	千円
財源内訳	国庫支出金	155,250	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	241,900	千円
	その他	81	千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	建設改良費
目	雨水管渠築造費

【コスト推移】

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計		305,558 千円	339,390 千円	397,231 千円

【総合結果】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度に別府川5-7号雨水幹線整備工事(約126m)が完成し、周辺地域の浸水被害の軽減が図られている。今後も継続して浸水被害のある地区を優先に雨水幹線整備を進めていく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
雨水整備予定面積	ha	3,463.7	3,463.7	3,463.7
別府川5-7号雨水幹線整備事業延長	m	1,741	1,741	1,741

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
雨水整備面積(延べ)	ha	1,574.8	1,577.7	1,615.6
別府川5-7号雨水幹線整備済延長	m	1,220	1,357	1,483
活動指標 分析結果	令和3年度事業のうち一部を繰越しており、令和4年6月末に完成を予定している。完成後の整備面積(延べ)は1,630.8ha、整備延長は1,608mとなる。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
都市浸水対策達成率	%	45.5	45.6	46.6	令和10年度	50.9
別府川5-7号雨水幹線整備事業進捗率	%	70.0	78.0	85.2	令和4年度	100
成果指標 分析結果	令和3年度事業は繰越事業として令和4年6月末に完成予定であり、完成後は対策達成率47.1%、事業進捗率92.4%と目標に向けて着実に進捗している。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	汚水ポンプ場施設建設改良事業	部局名	上下水道局
		課名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	危機に強い安全・安心な下水道の実現
目標	2 管渠・施設の機能維持
施策	2 スtockマネジメントの実践
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例

【事業概要】

現状と課題	平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、汚水ポンプ場施設の改築更新工事を実施している。 今後は、令和2年度に策定した耐震実施計画及び令和3年度に策定した耐水化計画と調整したうえで、汚水ポンプ場施設の改築更新工事を実施する。
目的	建設及び改築更新工事を行うことにより、汚水中継処理及び雨水排水が確実に行われる状態にする。 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか
対象	汚水中継ポンプ場(安田中継ポンプ場・池尻中継ポンプ場・石守中継ポンプ場)及びマンホールポンプ場 ※誰、何に対して
事業内容	対象施設が適正に稼働し、汚水中継処理及び雨水排水が確実に行われるよう、計画的に建設及び改築更新を行う。 ※目的達成のための手段・手法

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		360,214	千円
財源内訳	国庫支出金	171,355	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	188,300	千円
	その他	559	千円

【会計】

会計		下水道事業会計
会	計	資本的支出
款		建設改良費
項		汚水ポンプ場施設建設費
目		

【コスト推移】

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計		33,961 千円	88,093 千円	360,214 千円

【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度に安田中継ポンプ場の改築更新工事を実施し、下水の中継処理及び排水能力の維持を図ることができた。今後も下水道ストックマネジメント計画に基づき施設の改築更新に合わせて耐震化及び耐水化工事を実施していく。
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
汚水中継ポンプ場(合流)	施設	1	1	1
汚水中継ポンプ場(分流)	施設	2	2	2
マンホールポンプ場	施設	34	34	35

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事・委託発注件数	件	4	6	6
活動指標 分析結果	ストックマネジメント計画に基づき、安田中継ポンプ場の改築更新工事を実施した。また、原マンホールポンプ場の新設工事を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
汚水中継処理能力	m ³ /分	68	68	68	令和9年度	68
雨水排水能力	m ³ /分	1,116	1,116	1,116	令和9年度	1,116
成果指標 分析結果	計画どおり設備の改築更新を行った結果、汚水中継処理及び雨水排水能力は適切に維持できている。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	雨水ポンプ場施設建設改良事業	部局名	上下水道局
		課名	下水道課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道
方針	危機に強い安全・安心な下水道の実現
目標	2 管渠・施設の機能維持
施策	2 スtockマネジメントの実践
関連根拠法令等	都市計画法、下水道法、加古川市下水道条例

【事業概要】

現状と課題	平成30年度に策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、雨水ポンプ場施設の改築更新工事を実施している。 今後は、令和2年度に策定した耐震実施計画及び令和3年度に策定した耐水化計画と調整したうえで、雨水ポンプ場施設の改築更新工事を実施する。
目的	建設及び改築更新工事を行うことにより、雨水排水が確実に行われる状態にする。
※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	
対象	雨水ポンプ場(神野団地雨水ポンプ場・新野辺雨水ポンプ場・西脇雨水ポンプ場・中島雨水ポンプ場)及び場外除塵機・ゲート設備
※誰、何に対して	
事業内容	対象施設が適正に稼働し、雨水排水が確実に行われるよう、計画的に建設及び改築更新を行う。
※目的達成のための手段・手法	

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		282,330	千円
財源内訳	国庫支出金	141,165	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	141,100	千円
	その他	65	千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	資本的支出
項	建設改良費
目	雨水ポンプ場施設建設費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	321,593 千円	306,090 千円	282,330 千円

【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度に新野辺雨水ポンプ場及び西脇雨水ポンプ場の改築更新工事を実施し、雨水の排水能力の維持を図ることができた。今後も下水道ストックマネジメント計画に基づき施設の改築更新に合わせて耐震化及び耐水化工事を実施していく。
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
雨水ポンプ場	施設	4	4	4
場外除塵機設備	施設	10	10	10
場外ゲート設備	施設	12	12	12

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
工事・委託発注件数	件	6	6	4
活動指標分析結果	ストックマネジメント計画に基づき、新野辺雨水ポンプ場及び西脇雨水ポンプ場の改築更新工事を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
雨水排水能力	m ³ /分	2,522	2,522	2,522	令和9年度	2,522
成果指標分析結果	計画どおり設備の改築更新を行った結果、雨水排水能力は適切に維持できている。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	使用料徴収事業	部局名	上下水道局
		課名	お客さまサービス課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心して快適な暮らしを支える下水道
方針	信頼される健全な経営
目標	1 持続可能な経営
施策	2 経営基盤の強化
関連根拠法令等	下水道法、地方自治法、加古川市下水道条例、加古川市農業集落排水処理施設条例

【事業概要】

現状と課題	節水機器の普及や環境意識の高まりに伴う節水行動の定着、企業のコスト縮減努力などによって使用料収入は伸び悩み傾向にある。下水道事業の財源の根幹となる使用料収入の安定的確保と負担の公平性の観点から、納期内納付の促進と滞納整理の強化を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	経営の根幹をなす下水道使用料を、納期限内に着実に徴収することにより、安定した経営を図る。また、支払い方法の多様化を図ることで、お客さまの利便性を向上させるとともに、未納使用料については、債権管理を強化し、お客さま間の公平性を確保する。
対象 ※誰、何に対して	公共下水道、農業集落排水処理施設の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	下水道使用料(公共・農集)については、水道料金と併せて利用者から徴収している。下水道使用料の収納については、口座振替、コンビニ収納、クレジット支払いや金融機関の窓口等で納付できるよう、納付し易い環境整備を行っている。納期限内に納付されない者に対しては、文書、電話、外勤徴収等による収納業務を行うとともに、水道料金と併せて徴収していることから、2期以上の滞納者については、給水停止等の実効性のある方法も取り入れ収納率の向上を図っている。

【コスト】

		令和3年度(決算)	
事業費合計		184,986	千円
財源内訳	国庫支出金	0	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	0	千円
	その他	184,986	千円

【会計】

会計		下水道事業会計
会	計	事業費用
款		営業費用
項		業務費
目		

【コスト推移】

		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計		173,600 千円	169,270 千円	184,986 千円

【総合結果】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度において現年度、過年度共、収納率の目標を達成することができた。今後も収納事務を適切に行い、収納率の維持に努めていく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道使用料の現年分調定件数	件	598,070	606,054	614,528
農集排処理施設使用料現年分調定件数	件	4,045	4,064	4,091

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
下水道使用料収納済額	千円	3,246,775	3,291,161	3,281,808
活動指標分析結果	下水道への接続件数は増加しているが、賦課徴収経費は2年度前の決算額に基づき算出しているため、必ずしも連動していない傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
収納率(現年度) ※各年度5月末現在	%	90.7	90.3	91.2	令和3年度	91.1
収納率(過年度) ※各年度3月末現在	%	94.7	97.1	97.3	令和3年度	94.5
高額滞納者人数(10万円以上)	人	41	36	31	令和3年度	0
目標値を平成29年度より設定した。						
成果指標分析結果	生活スタイルの変化による核家族化や単身世帯の増加により使用料収入は減少している。高額滞納者(10万円以上)の人数を急激に減らすことは難しいが、継続して分納誓約や納期内納付を確実に履行させることにより減少させていくことが重要である。					

加古川市上下水道局 事業評価シート(令和3年度実施事業)

事業名	公共下水道受益者負担金徴収事業	部局名	上下水道局
		課名	お客さまサービス課

【基本情報】

基本理念	未来へつなぐ 安心して快適な暮らしを支える下水道
方針	信頼される健全な経営
目標	1 持続可能な経営
施策	2 経営基盤の強化
関連根拠法令等	都市計画法、地方自治法、加古川市下水道事業受益者負担に関する条例

【事業概要】

現状と課題	整備区域が市街化区域から市街化調整区域へと移るにつれて、対象人口に比べて整備費用が増加傾向にあることに加え、個々の宅地面積が広いため受益者負担金額も高額となっている。工事説明会等で事前にその目的や金額について丁寧に説明を行い、受益者から十分な理解を得ることが課題となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	受益者負担金を賦課した人や事業所(土地所有者)が納期限内に完納する状態にする。
対象 ※誰、何に対して	受益者負担金を賦課した人や事業所(土地所有者)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市下水道事業受益者負担に関する条例に基づき、受益者負担金を賦課徴収する。

【コスト】

		令和3年度(決算)
事業費合計		1,540 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他	1,540 千円

【会計】

会計	下水道事業会計
款	事業費用
項	営業費用
目	受益者負担金賦課徴収費

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)
事業費合計	3,163 千円	3,690 千円	1,540 千円

【総合結果】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに、各部局において総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和3年度において、収納率の目標を達成することができた。今後も制度の周知を図るとともに収納事務を適切に行い、未収金解消に努め、収納率を維持していく。

<計測可能な数値による事業評価>

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
現年分調定件数	件	586	543	597

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
賦課徴収経費	千円	3,163	3,690	1,540
活動指標分析結果	負担金の賦課件数及び負担金額の増減に連動して、徴収経費の前納報奨金も増減することとなる。前納報奨金については、賦課年度によって一括納付する方が増減することから、徴収経費の増減へ大きく影響している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
収納率	%	98.0	98.4	97.6	令和3年度	97.0
成果指標分析結果	年度間で徴収金額の増減はあるものの、収納率は大きな変動も無く推移している。引き続き収納率の向上に努める。					